

富山経済同友会

会報

2021.5月
No. 301



創立60周年記念式典（4月27日）

CONTENTS

- 創立60周年記念式典 2
- 2021年度定時総会 6
- 【提言発表】教育問題委員会 14
- 【提言発表】地域創生委員会 15
- 【提言発表】人財創出委員会 16
- 3月会員定例会 17
- 【講演録】3月会員定例会：松本 恭攝 氏 17
- 第33回全国経済同友会セミナー 21
- 企画総務委員会（第8回，第9回） 22
- 第6回働き方改革委員会 22
- 課外授業講師派遣 23
- 市町村新任職員研修講師派遣 23
- 慶事のお知らせ 24
- 同友会の日 富山グラウジーズ戦 24
- リレーエッセイ[®]（小川 万里絵 氏） 25
- 活動報告 26
- 会員の入退会 28
- トピックス（地域創生委員会制作半日観光パンフレット） 33
- 今後の予定 33
- わが青春の1枚（高林 幸裕 氏） 34

持続可能な地域社会の発展を目指す

～ 創立60周年記念式典 ～



4月27日(火)、創立60周年記念式典が富山国際会議場で開催され、当会会員のほか、来賓として新田八朗富山県知事、藤井裕久富山市長、(一社)金沢経済同友会 福光松太郎代表幹事はじめ、経済団体の代表者、富山県商工労働部長など約230名が出席した。開催に当たっては検温、手指の消毒、座席の間隔を取るなど新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。

冒頭、この10年間に逝去された物故会員26名の方々のご冥福をお祈りし、出席者一同が黙祷を捧げた。スクリーンには、物故会員の在りし日のお姿をお一人ずつ映し出し、元気にご活躍された当時を偲んだ。

続いて、麦野英順代表幹事が式辞を述べた。麦野代表幹事は「現代は、物事の変動が大きく、不確実で、複雑に事象が絡み合い、解決策の見つからない、まさしくVUCAの時代と言われる状況であるが、そのような今こそ、当会の設立趣意書にもある、『進歩的経済人の機関として、現実に密着した知識と経験を駆使し、自由な立場から積極的に政策面に参加し、県の経済発展、ひいてはわが国経済に貢献する』ことが求められている。富山県も人口減少や高齢化問題、地球温暖化いわゆるカーボン・ニュートラルへの対応など、様々な課題を抱えているが、当会は本日SDGs宣言を行い、持続可能な地域経済社会の発展を目指して、積極的に取り組んでまいり所存である」と抱負を語った(式辞は4ページに全文掲載)。



麦野代表幹事

続く来賓紹介では来賓の皆さまをお一人ずつ紹介、会場からは大きな拍手が送られた。

次に60周年記念事業として新型コロナウイルス感染症対策にご尽力されている医療従事者への支援として、



寄付金贈呈

富山県に6百万円の寄付金を贈呈するため、目録の贈呈式が行われた。麦野代表幹事から新田知事に目録を贈呈し、新田知事より麦野代表幹事に感謝状が贈られた。

続いて、来賓を代表し新田知事より祝辞を頂戴した。新田知事は「コロナ感染症はまた拡大の兆しを見せているが、県民の命と暮らしを守ることを最優先



新田富山県知事

課題とし、この危機を乗り越えなければならない。その一方でビヨンドコロナの時代を見据えて、県民、県内企業の皆さまとワンチームとなって富山県の成長戦略を描き、その実現に向かって頑張っていきたい。富山経済同友会は60周年を契機に一層会員の結束を強め、本県

経済の発展、社会課題の解決にご尽力いただきたい」と語った(祝辞は5ページに全文掲載)。

続いて、祝電の披露が行われ、県内外よりお祝いのメッセージが



記念品贈呈

多数寄せられたことが報告された。

そして記念品贈呈では代表幹事として当会の発展に尽力された、5人の特別顧問(中尾哲雄氏、高木繁雄氏、久和進氏、米原蕃氏、新田八朗氏)とともに、事務局に勤務した事務局長経験者5名と事務局員経験者8名に対し、麦野代表幹事より記念品が贈られた。

引き続き、2020年度に60周年記念事業担当役員を務めた羽根由常任幹事が創立50周年以降の「富山経済同友会の10年のあゆみ」を懐かしい写真を投影しながら説明した。2012年



羽根常任幹事

4月に当会が主管し富山で開催した第25回全国経済同友会セミナーを皮切りに、富山県ふるさとの歌「ふる



富山経済同友会の10年のあゆみ

さとの空」の発表会、「同友会の日」の発足、北陸新幹線開業イベント、富山おかえりプロジェクト、「全国立山大使の会」キックオフミーティング、代表幹事北京ミッション、TOYAMA KATARAI CAFE2020、フィールドワーク「大

人の遠足」、スケッチオーデション～原石発掘～などのプロジェクト、会員定例会、海外経済視察、海外教育事情視察、三山経済同友会交流会など2021年3月までの多くの事業が紹介された。

続いて、2020年度にSDGs推進担当役員を務めた高林幸裕常任幹事がSDGs宣言を行った。高林常任幹事はSDGs宣言の経緯、当会が取り組む重要課題を説明した後、声高らかに宣言し、会場からは大きな拍手が沸き上がった。



高林常任幹事

最後に塩井代表幹事が挨拶。来賓の皆様へ感謝の言葉を述べた後、「私ども富山経済同友会は昭和36年の設立時の理念・精神を継承しながら、次の70周年に向け、地域との連携を



塩井代表幹事

図り、行動指針「創造する経済人 行動する同友会」のもと積極的に同友会活動を行い、地域社会の発展に貢献していきます」と締めくくった。

なお、式典後に記念祝賀会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とし、式典出席者に手土産を配付した。



富山経済同友会 SDGs宣言

— 連携、創造、行動 —

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、あらゆる国や地域、企業活動や市民生活に至るまで、かつてない危機に見舞われており、従来の考え方・システムによる再生は極めて困難と言わざるをえない。

このような状況下においては、地域のみならず、日本および世界の課題を解決していく観点から、多様な連携・パートナーシップを確立し、新たな価値を創造していかなければならない。

富山経済同友会は、行動指針「創造する経済人 行動する同友会」のもと、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向け積極的に取り組むことにより、持続可能な地域社会の実現に貢献していく。

2021年4月27日

■ 代表幹事式辞 ■

代表幹事 麦野 英順

代表幹事の麦野でございます。

本日は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中ではありますが、富山経済同友会の創立60周年記念式典を、このように開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、お忙しい中にも関わらず、新田富山県知事、藤井富山市長、金沢経済同友会の福光代表幹事をはじめ、ご来賓の皆様方には、ご臨席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

富山経済同友会は、1961年4月27日、県内107名の経済人によって設立されて以来、諸先輩方のご尽力と富山県をはじめとした関係各位のご支援により、本日、創立60周年を迎えました。設立当時は急速な経済成長期であり、その頃の課題として、東京との地域格差是正、テンポの早い技術革新、輸送力の増強、エネルギー確保、新港建設などがあったため、富山県の経済人が共同して研究や提言を行うことを目的に設立されました。その後、当会は順調に成長を重ねまして、現在では420名の経済人により構成されている次第であります。

この60年間で世の中が大きく変わる中、当会は行動指針である「創造する経済人 行動する同友会」のもと、地域の活性化や教育、環境、企業経営などの諸課題について90を超える提言を行ってまいりました。また、会員が小・中・高校生に、働くことや学ぶことの意義を教える課外授業講師派遣活動を、2001年度より20年にわたり継続しております。

前回の50周年記念式典からの10年間、富山県においても様々なことがありましたが、特に、悲願であった北陸新幹線の開業は、我々に大きな変化をもたらしました。60年前には9時間40分、10年前には3時間10分もかかっていた富山と東京が2時間余りで結ばれたことにより、ビジネス客や観光客などの交流人口が増加するだけでなく、富山県への本社機能移転や拡充などの経済波及効果があったことはご承知の通りであります。今後は、この効果を発展させるために、2023年度末までの敦賀開業、そして、一日も早い大阪延伸を実現させなければなりません。北陸新幹線の全線開通は経済効果のみならず、大災害時における東海道のバイパス機能や、国土の強靱化にも大きく寄与するものであります。

また、昨年より世界中に広がっている新型コロナウイルス感染症も、人々の価値観や生活スタイルを大きく変化させ、消費者ニーズや企業の経営課題を様変わりさせました。現在は、一日も早くワクチン接種を全国的に普及させ、感染収束が期待される所存ではありますが、同時にコロナ禍で顕在化したデジタル化の遅れや東京一極集中問題、またダイバーシティや地球温

暖化防止への取り組みの遅れなどの様々な課題を乗り越え、ビヨンドコロナに向けた対応を急がなければなりません。

現代は、物事の変動が大きく、不確実で、複雑に事象が絡み合い、解決策の見つからない、まさしくVUCAの時代と言われる状況ではありますが、そのような今こそ、当会の設立趣意書にもあるように、「進歩的経済人の機関として、現実に密着した知識と経験を駆使し、自由な立場から積極的に政策面に参加し、県の経済発展、ひいてはわが国経済に貢献する」ことが求められているものと確信しております。

さて、当会は本日、SDGs宣言をいたします。SDGsは(1)持続可能な経済成長、(2)誰一人取り残さない世界の実現、(3)気候変動対策を中心とする環境保全、という3つの課題をバランスよくかつ未来志向で達成することを目指すものであります。富山県も人口減少や高齢化問題、地球温暖化いわゆるカーボン・ニュートラルへの対応など、様々な課題を抱えているため、当会は重点課題として「持続可能な企業経営」、「持続可能な人づくり」、「持続可能な地域づくり」、そして「地域での連携・パートナーシップの確立」の4つを掲げ、持続可能な地域経済社会の発展を目指して、積極的に取り組んでまいりる所存であります。

今回、3つの委員会より提言を行っております。

地域創生委員会では、自治体と経済界が一体となって、DXを見据えたデジタル化推進による地域創生「デジタル・ワンチームとやま」の推進を提言いたしました。

人財創出委員会では、「富山県の活性化に資する高度人材の確保育成に向けた新たな協働・連携事業の推進」を提言いたしました。

また、教育問題委員会では、「子どもたちの「生きる力」を育む社会の創造」と題して、教師へのサポートやICT教育など、具体的な10項目の方策をまとめました。

いずれも、富山県全体の持続的発展のためには必要不可欠なものであり、これらの実現に向けて、引き続き積極的に貢献してまいります。

今後とも、当会は「創造する経済人 行動する同友会」として、あらゆるパートナーシップのもと、地域の活性化に貢献する提言活動を進めるとともに、すべての会員にとって有意義な各種活動を実施してまいりる所存でありますので、引き続き関係各位の変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。創立60周年記念式典の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

来賓祝辞

富山県知事 新田 八朗 氏

麦野英順、塩井保彦両代表幹事をはじめ歴代役員並びに会員の皆様、そして多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、富山経済同友会創立60周年記念式典が盛大に開催されますことを、心からお喜び、お祝い申しあげたいと存じます。

そして、先ほど黙祷を捧げさせていただきましたが、物故会員の方々をはじめ、この60年の歴史を紡いでこられた皆様方に心から敬意を表したいと存じます。

本日はこのように新型コロナ感染症対策をしっかり施していただき開催いただきました。また、あわせて今ほどは現場の第一線でコロナと戦われている医療従事者の皆様に役立ててほしいということで、多額の寄付をいただきました。富山県で開設しております新型コロナウイルス感染症対策応援基金に受け入れさせていただき、ご趣旨に沿った使い方をさせていただきましたと存じます。

さて、1961年の発足以来、富山経済同友会は富山県の産業そして経済の発展、高度化、また地域活性化に多大な足跡を残してこられました。

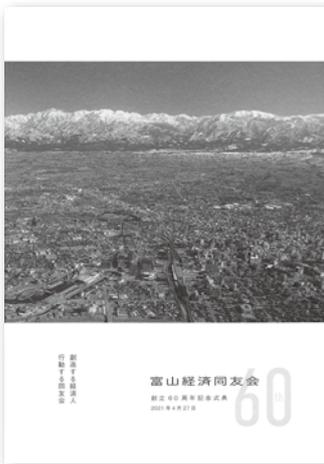
また、本日は後ほど、「富山経済同友会SDGs宣言」を表明されると聞いております。より一層地域との連携を強められ、企業としての社会的責任を果たす中で、持続可能な社会にますます貢献されますことを心から期待いたします。

コロナ感染症は再び拡大の兆しを見せておりますが、県民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先課題としてこの危機を乗り越えなければなりません。その一方で、ビヨンドコロナの時代を見据え、県民の皆様そして県内企業の皆様と「ワンチーム」となって、富山県の成長戦略を描き、さらに富山県の未来の姿を描き、その実現に向けて頑張ってください。

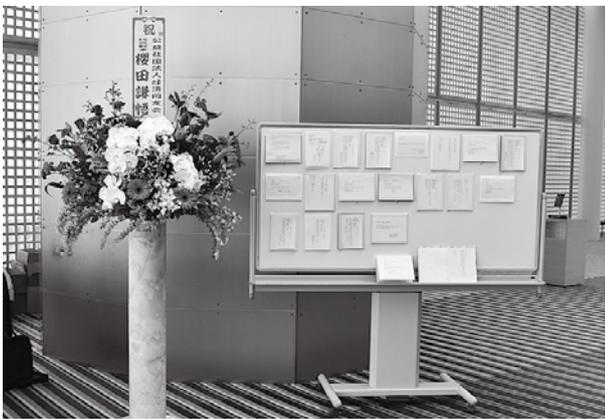
私も、長くこの会でお世話になったものとして、少しだけ個人的な感想を述べることをご容赦願います。麦野代表幹事からもお話がありました課外授業が記憶に残っております。経済人が教壇に立つことはとてもチャレンジなことであったと思います。私も何度も受け持たせていただきました。ワクワクすると同時にドキドキしながら子どもたちと向かい合ったことを思い出します。その度にフェイスブックにもアップしておりましたので、我ながら良い経験だったと思います。また、この会の海外視察は準備が入念になされ、クオリティが高いものであったと記憶しております。今は実行ができませんが、再開されて時間が許せば、参加させていただければ大変ありがたく存じます。

本日の創立60周年を契機に、会員の皆様により一層結束を固められ、引き続き本県経済の発展、そして社会課題の解決にますますご尽力いただくことを心から祈念いたしますとともに、チャンスがあり、夢をかなえることができ、ワクワクする富山県を、富山市の藤井市長と連携し、富山経済同友会の皆様とともに目指していくことをお誓いしたいと存じます。

終わりに、富山経済同友会のますますのご発展、会員企業のますますのご成長、会員の皆様のお一人お一人のご健勝を心からお祈り申し上げます。本日はコロナ禍ということで、残念ながら祝賀会を開催することはできません。しかし人間はイメージができる動物です。素晴らしいお料理、素晴らしい飲み物、そして素晴らしい仲間たちを想像しながら、それぞれ心の中で大いに、盛大に、大声をだしてお祝いをしていただければと存じます。本日は本当におめでとうございます。



当日配布したリーフレット



祝花と祝電

2021年度定時総会



4月27日(火)、2021年度定時総会が富山国際会議場で開催され、会員約200名が出席した。

冒頭、塩井代表幹事が開会挨拶を行った。

麦野英順代表幹事が議長を務め、①2020年度事業報告、②2020年度決算案、③2021年度事業計画、④2021年度予算案、⑤規約改定、⑥新役員選任の6件について審議が行われた。2020年度事業報告では牧田和樹副代表幹事が概要報告を行い、各委員長が活動状況を説明した。また、

板谷聡会計監事が2020年度決算案の監査報告を、牧田和樹副代表幹事が2021年度事業計画の説明を行い、いずれも原案通り承認された。

2021年度事業計画では、創立60周年記念事業として定時総会後の記念式典で①新型コロナウイルス感染症対策に尽力されている医療従事者への支援のため富山県に寄付する、②SDGs宣言を行う、③6月12日に富山県出身の安宅和人氏(慶應義塾大学環境情報学部教授、ヤフー(株)CSO)の講演をすることを決めた。また、1委員会削減し、6委員会に再編し、「持続可能な企業経営」、「持続可能な人づくり」、「持続可能な地域づくり」をテーマにSDGsを推進することが決定された。

役員の選任では、中村厚氏が会計監事に選任された。会計監事の本田百合子氏の退任ならびに6名の新幹事の選任も承認された。

総会終了後、創立60周年記念式典を開催した。

産学官連携でSDGsを推進していこう

総会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。2020年度を振り返りますとコロナのパンデミックにより社会が大きく変化し、人々の暮らしや価値観に大きな変化が起きた年でした。また、行動制限によって大きな打撃を受けた産業と、巣籠り需要による好調な産業との違いが鮮明に出た1年でもありました。

そのような環境変化の中、当会は海外視察事業や各地同友会との交流事業の中止があったものの、リアルとオンラインを交えながら積極的に会員定例会や委員会活動を行いました。年度末には教育問題・人財創出・地域創生の3委員会です、市、教育委員会に対する大変有意義な提言を行い、その他の委員会も内容のある活動報告を出すことができました。会員各位のご協力に感謝申し上げます。

さて、2021年度が始まりました。今年はコロナワクチンの接種を70%の国民が受け集団免疫ができることで行動制限がなくなり経済が復調するという楽観論と、変異ウイルスに対してワクチン効果が薄れ状況が今と変わらないという悲観論がありますが、私は世界中にワクチンが行きあたり治療薬ができないと感染は収まらな

開会挨拶 代表幹事 塩井 保彦

いことから、数年は一進一退のwithコロナ時代が続くと思っています。

このような視点から、当会の2021年から2030年の活動指針として、このあとの60周年記念式典においてSDGs宣言を行い、委員会体制もSDGs実践体制としていきたいと考えております。

ポストコロナ時代のニューノーマルを考えると、われわれの企業がSDGsを経営課題としてとらえ、新たな製品やサービスを生み出し、結果としてDXやグリーンイノベーションが進むよう、新たな価値創造を行っていく必要があります。

当会も新たな価値創造を目指し、各委員会は行動指針「創造する経済人 行動する同友会」に加え、富山県、市町村、大学と連携しながら活動したいと考えております。

是非とも会員諸兄の積極的な委員会活動ならびに同友会活動への参画をお願い申し上げます。定時総会冒頭のご挨拶とさせていただきます。



2020年度事業報告

コロナ禍でも積極的に事業を展開

副代表幹事 牧田 和 樹

昨年はコロナ禍の中で海外経済視察、海外教育事情視察、全国立山大使の会、日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット、5 経済同友会教育担当委員会交流会など交流系事業のほとんどが中止になりました。

そのような中、会員定例会を含め 6 回の講演会を開催いたしました。コロナを受けてオンラインとリアルを融合してハイブリッドで行うなど、取り組みに工夫を凝らして講演会を行ってまいりました。特に会員定例会での小室淑恵さんと松本恭攝さんの講演会は東京からのオンラインで開催しました。東京にいらっしゃる講師がオンラインで繋がって講演会ができる形が確立して、講演会の形式に幅ができました。

また、コロナの波の間隙をぬって懇親会を 3

回も開催しました。特に年末懇親会の出席者が142名ということで、おそらく県内経済団体でこれだけの規模



の懇親会をコロナ禍で行ったのは当会だけではないかと思えます。感染対策には万全を期しつつ、経済活動との両立に向けて精一杯事業を進めてまいりました。

以上をもちまして事業報告とさせていただきます。

SDGs の推進と60周年記念事業について議論 企画総務委員長 桶屋 泰三



当委員会の2020年度の活動について、ご報告させていただきます。

2020年度は、8 回の委員会を開催し、2021年度からのSDGs推進策、2021年度の60周年記念事業の企画立案を中心に活動しました。

まず、SDGs に関する活動ですが、2 回の講演会を開催しました。具体的には7月に富山県総合政策局長の柿沢昌宏氏に「富山県のSDGsの取組み」について講演いただき、9月にはエタンセルの代表 西野冬美氏に「SDGs の実践が会社の未来を変える！ポイントは3つのI」と題して講演いただきました。

SDGs 推進を考慮した委員会の再編については、8月から2月に開催した4回の委員会で議論を重ねました。

さらに、11月の常任幹事会において、2021年

度以降、当会がSDGs 推進に取り組んでいくことを広くアピールするため、SDGs 宣言を行ってはどうかとの提案があり、1月、2月に開催した委員会でSDGs 宣言文を検討しました。

次に60周年の記念事業ですが、事業内容、記念式典・祝賀会の内容、記念式典に配付するしおりなどについて8月から3月に開催した5回の委員会で議論を重ねました。

12月は新会員歓迎オリエンテーションを開催し、「富山経済同友会について」と題して、塩井代表幹事に講演していただきました。

20年振りに当会のホームページのリニューアルをするため、1月と3月に意見交換を行いました。

当委員会で行っている「日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット」などの各地同友会との交流会、当会 OB・OG の会である全国立山大使の会は新型コロナウイルス感染拡大で次年度に延期となりました。

以上で、企画総務委員会の活動報告を終わらせていただきます。

コロナ禍での企業経営・新たな活動スタイルを模索 企業経営委員長 伊勢 徹



活動1年目となる2020年度は、経営者が抱える様々な課題や、あるべき経営者の姿に関して考えることをテーマに、2回の委員会と1回の経営道場、各種アンケート調査を実施しました。

一方でコロナ禍の影響により、開催を予定していた、ごきげんよう職場訪問については中止・延期せざるを得ない状況となってしまいました。

7月には第1回拡大委員会を開催し、日本銀行武田金沢支店長をお招きし「最近の金融情勢」についてご講演いただきました。また、この回に講演の様子を初めてZoom配信いたしました。

9月には第1回経営道場を開催し、牧田副代表幹事に発表をいただきました。また、新たにグループディスカッションを取り入れ、意見交

換と発表を行いました。

12月には、株式会社日立製作所 ITデジタル統括本部部長 富田幸宏氏から、DXの時流や具体的な取り組みについてご講演いただきました。また、講演に引き続き、「With/After コロナにおける企業経営」について意見交換を行いました。

6月には新型コロナウイルスに関するアンケートを実施し、新型コロナウイルスが事業に及ぼす影響、自社の対応、テレワーク継続による感染予防対策以外のメリット、With/After コロナの社会変容を見据えた中長期の取組み、サプライチェーンの見直し・再構築等について、調査を行いました。

7月と12月には、景気定点観測アンケートを実施し、それぞれトピックスとしてテレワークの導入、事業承継やM&Aについて調査を行いました。

1年間、どうもありがとうございました。

デジタル化推進による地域創生～“デジタル・ワンチーム”とやま～ 地域創生委員長 山野 昌道



活動2年目となる2020年度は、4回の委員会と1回の会員定例会主管を行い、提言策定に向けた活動を行いました。

7月には、スマートシティやデータサイエンスをテーマとした会員定例会を主管し、県外視察報告や富山市センサーネットワークを活用した実証実験事例の紹介、森富山市長及び富山大学 齋藤学長より、スマートシティ推進やデータサイエンス育成の取り組みについてご講演いただきました。同じく7月に第4回委員会を開催しafter/with コロナを見据えた地域活性化について意見交換を行いました。

10月には第5回委員会として、フィールドワーク「大人の遠足」を実施しました。コロナ禍の今だからこそ、マイクロツーリズムを見直そうという趣旨で企画、実施したものです。

11月には第6回委員会として、スマートシティ推進に先進的に取り組む高松市役所、民間主

導による中心商店街の活性化に取り組む高松丸亀町商店街振興組合を視察しました。

1月には第7回委員会として、提言案やフィールドワークの成果発信について意見交換を行いました。

3月には、2年間の検討を踏まえた提言『デジタル化推進による地域創生～「デジタル・ワンチーム」とやま～』を策定しました。提言では、デジタルにより目指すべきゴールのイメージや実現に向けた課題を整理しました。これらを基に、行政・経済界・社会全体が取り組むべき施策として①県と市町村が一体となった行政のデジタル化、②経済界が取り組むべきデジタル化、③産学官連携による社会全体のデジタル化を挙げ、取り組むべき13の方策について提言しました。

なお、「大人の遠足」のまとめとして、小冊子とウェブサイトを制作しました。ぜひご活用いただければと思います。

地域創生委員会の活動報告及び提言の説明は以上となります。2年間、どうもありがとうございました。

付加価値の創造と生産性の向上を目指して 働き方改革委員長 遊道 義則



活動2年目となる2020年度は、企業の生産性向上や社員の活力向上、コロナ時代の働き方改革などをテーマに活動を行いました。

6月の第3回委員会では、with/after コロナの働き方について、グループ毎に意見交換を行いました。

8月の第4回委員会では、インテリジェンスフィールド合同会社代表 福田祥司氏によるフォローアップセッションを行い、働き方改革の実現に向けた組織改革やコロナ時代の企業経営課題について解説していただきました。

9月には会員定例会を主管し、株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長 小室淑恵氏から、経営戦略としてのポストコロナの働き方について、事例紹介を交えてオンラインでご講演いただきました。

2月の第5回委員会では、ワークシートを用いて各委員が自身の活動を振り返り、グループ毎にそれぞれの働き方改革の取り組みについて意見交換を行いました。

3月の今次最終となる第6回委員会では、2年間の活動の総括として、活動報告書のとりまとめを行うとともに、富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課長 山下章子氏から、富山県の働き方改革関連施策についてご講演いただきました。

今次の働き方改革委員会では、働き方改革の本質をしっかりと再認識することから始動し、社員のエンゲージメントを高め、付加価値の創造と生産性の向上を実現するために、委員の一人ひとりが自社の現状を認識し、目標を設定し、さらにその計画の中で自分がどう行動するのかを具体的に決定するところまで到達できたのではないかと自負しております。

以上、働き方改革委員会の活動報告を終わらせていただきます。2年間ありがとうございました。

高度人材の確保育成に向けた新たな協働と連携事業の推進 人財創出委員長 中澤 宏



活動2年目となる2020年度は、2回の委員会と1回の会員定例会主管、2回のイベント開催を行うと共に、提言策定に向けた活動を行いました。

7月には第5回委員会を開催し「with/After コロナにおける人財創出」について意見交換を行いました。

11月には第6回委員会として、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の松田参事官・富山県商工労働部の三牧理事・エムシードゥコー株式会社の澤田セールスエグゼクティブの3名の講師にご講演いただき、「地方創生テレワーク」について理解を深めました。

2月には起業支援事業として、他組織との共催のもとビジネスプランコンテスト「スケッチオーディション」を開催いたしました。

同じく2月、UIJターン促進事業としてオンラインでの合同企業説明会「とやナビプロジェクトーミートアップ富山ー」を開催いたしました。

3月には会員定例会を主管し、ラクスル株式会社の松本社長に、オンライン登壇によりご講演をいただきました。

そして2年間の活動の総括として、提言『富山県の活性化に資する高度人材の確保育成に向けた新たな協働・連携事業の推進』を策定いたしました。

提言では、高度人材を確保し育成するために必要な施策を考えるにあたり、富山県の現状分析をおこなった上で、当会が2年間で実施してきたことからの学び・考察を踏まえて課題を明らかにしました。解決に向けた具体的なアクションプランとして、「富山型地方創生テレワークの推進」「UIJターン・人材マッチングの促進」「起業支援」の3つについて提言しております。

2年間、どうもありがとうございました。

次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むために 教育問題委員長 伊東 潤一郎



活動2年目となる2020年度は、私の教育問題委員長通算4年の総まとめの年でもあり、教育に関する提言の策定のほか、当初は、教育界と連携した様々な活動に取り組みこととしておりました。しかし、コロナ禍の影響により、教育施設の訪問や教師との交流などの取り組みを行うことができず、新潟経済同友会主管で開催予定だった「経済同友会教育担当委員会交流会」、フィンランド、デンマーク、スウェーデンへの訪問を予定していた「海外教育事情視察」及びこれまでの視察参加教員との意見交換会、キャリア教育に関する県外視察や「教師と企業人との交流」など、予定していた活動の多くを中止・延期せざるを得ない状況となってしまいました。

このような中でも、「課外授業講師派遣」は、

多くの会員の皆さんにご協力いただき、15校に19名の講師を派遣しました。制度創設以来の延べ数は、281校・356名と着実に派遣実績を積み重ねており、県内の学校に広く周知され、定着が図られています。

3月には、提言「子どもたちの『生きる力』を育む社会の創造」を策定いたしました。提言では、予測困難で先行き不透明な時代となる中、これからの社会がどんなに変化しようとも自らの力で活躍できる人材の育成に向け、教師・学校、子ども、親・家庭の3つの柱に加えて、コロナ禍で顕在化したICT教育の課題について、取り組むべき方向性と具体的な10の方策を提示しました。次代を担う子どもたちの「生きる力」は、経済界含め社会全体で育てていくことが必要であり、この提言を基に取り組みが進んでいくことを期待しております。

以上、教育問題委員会の活動報告及び提言の説明を終わらせていただきます。4年間ありがとうございました。

ラフカディオ・ハーンと富山^{ゆかり}所縁の芸術を学ぶ 文化スポーツ副委員長 高瀬 幸忠



活動2年目となる2020年度は、生誕170年かつ「ヘルン文庫」など富山に所縁のある「小泉八雲」をメインテーマに活動しました。また「富山の歴史に刻まれた重要な芸術を学ぶ」として、富山所縁の芸術家と作品に関する勉強会も開催しました。

継続事業の「同友会の日」についても、開催日を設定し地元プロスポーツチームを応援しました。その結果、7回の委員会と1回の会員定例会主管、3回の「同友会の日」開催となりました。

メインテーマの「小泉八雲」については、6月の高志の国文学館企画展鑑賞を皮切りに、8月に中尾特別顧問による講演会「小泉八雲と富山」、9月に高志の国文学館学芸員による勉強会を開催しました。富山大学の「ヘルン文庫」と「馬場記念公園」視察は、コロナ禍の影響に

より書面開催となりました。

11月には集大成として八雲が過ごした松江市を訪問し、八雲の曾孫で小泉八雲記念館館長の小泉凡氏によるミニレクチャーや、八雲所縁の地を「八雲日線」で解説頂きながら視察しました。

富山所縁の芸術については、富山出身で歴史に名を刻む水墨画家、陶芸・漆芸を対象に、各館長や学芸員による勉強会を開催し、歴史などを学ぶと共に、作品を鑑賞しました。

11月には会員定例会を主管し、女優・エッセイストの檀ふみ氏、高岡市万葉歴史館館長の坂本信幸氏、中尾特別顧問による鼎談「檀ふみさんと語るお酒の万葉歌」を開催しました。

「同友会の日」は、8月に富山GRNサンダーバーズ、10月にカタール富山、3月に富山グラウジーズを対象に、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催したところ多数ご参加いただき、大きな拍手で応援を送りました。

以上、文化スポーツ委員会の活動報告とさせていただきます。2年間どうもありがとうございました。

2021年度 事業計画

委員会再編 6 委員会体制に

副代表幹事 牧 田 和 樹

昨年引き続きまして、コロナの状況を見ながら事業を進めていきたいと思いますが、今年度は創立60周年を迎えますので、まずは記念事業が中心になります。この後の記念式典において富山県に対して寄付金を贈呈したいと思っております。これは医療従事者支援に役立てていただくため、富山県新型コロナウイルス感染症対策応援基金に寄付をさせていただきます。

それから2つ目の記念事業といたしましてはSDGs宣言を発表したいと思っております。

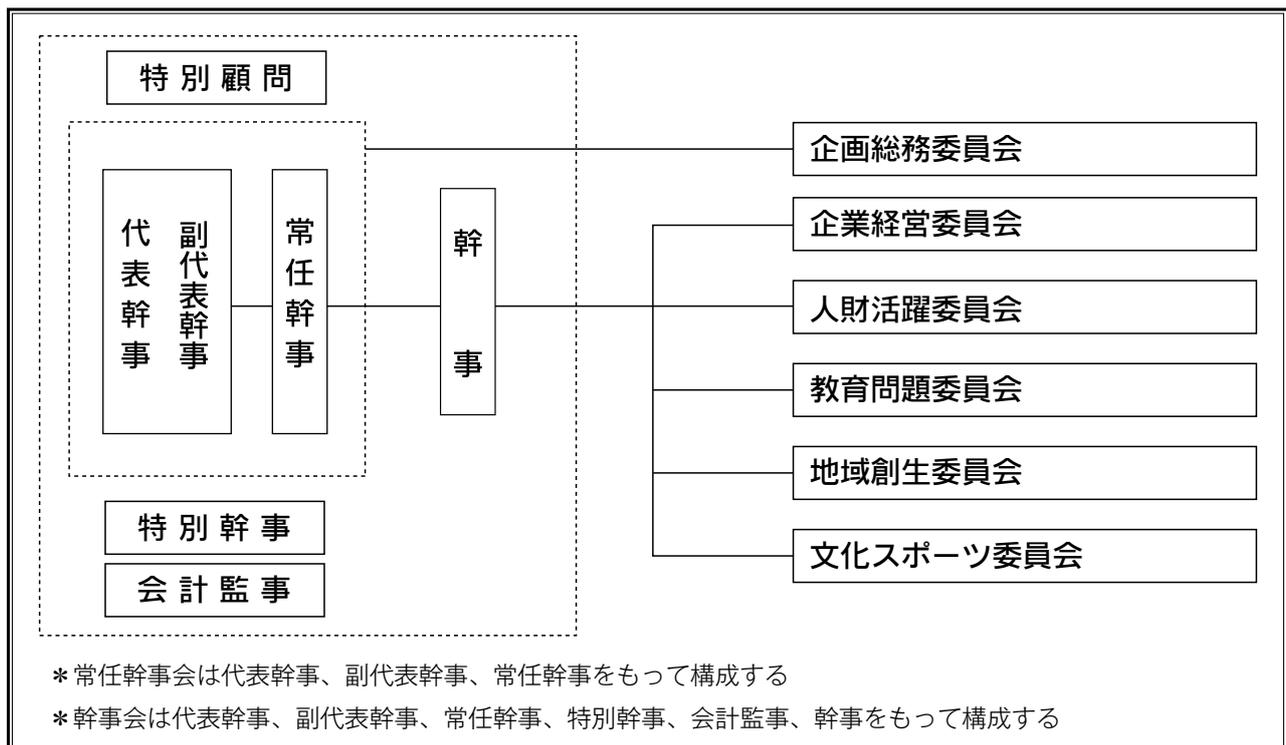
3つ目の記念事業は記念講演であります。6月12日にヤフー株式会社CSOの安宅和人氏をお招きして講演会を開催いたします。安宅氏は3年前にも当会で講演していただきまして、ま

た昨年「シン・ニホン」という新しい本も出されました。これからの時代に対する知見に触れたいと思っております。

昨年度、企画総務委員会で検討を重ね、60周年を契機に委員会を再編することにしました。「企業経営」、「人づくり」、「地域づくり」の3つのカテゴリーに大きく分けて、企画総務委員会を含め6つの委員会体制としました。

新型コロナウイルス感染症の収束にはまだ時間がかかります。アフターコロナの時代を見据えて、「連携」・「創造」・「行動」をキーワードに会員一人ひとりが自己研鑽に努め行動することで、輝く富山、日本再生へ寄与したいと思っております。以上で2021年度の事業計画の説明を終わります。

組織図



【2021年度委員会委員長】

委員会名	委員長	委員会名	委員長
企画総務委員会	桶屋 泰三	教育問題委員会	高瀬 幸忠(新任)
企業経営委員会	伊勢 徹	地域創生委員会	吉田 守一(新任)
人財活躍委員会	中澤 宏	文化スポーツ委員会	島田 好美(新任)

富山経済同友会 役員名簿 (2021年度)

(◎は新任)

特別顧問

【特別顧問】7名

山田 圭 藏 元 北陸電力(株)会長
 古田 暉 彦 元 北陸電力(株)副社長
 中尾 哲 雄 元 (株)インテック会長
 高木 繁 雄 (株)北陸銀行特別参与
 久和 進 北陸電力(株)取締役会長
 米原 蕃 米原商事(株)会長
 新田 八 朗 元 日本海ガス絆ホールディングス(株)社長

林 和 夫 朝日建設(株)取締役社長
 松原 吉隆 大同産業(株)取締役社長
 多田 慎一 第一物産(株)相談役
 金尾 雅行 富山港湾運送(株)取締役社長
 酒井 正人 富士商事(株)取締役社長
 稲葉 実 (株)三四五建築研究所主宰
 藤谷 和彦 (株)OSCAR 取締役会長
 金岡 寛 金岡忠商事(株)取締役会長
 伊勢 彦信 イセ食品(株)取締役会長
 若林 啓介 (株)若林商店取締役社長
 川本 元充 北陸機材(株)取締役会長
 ◎本 田 百合子 アシシステム税理士法人代表社員

役員

【代表幹事】2名

麦野 英 順 (株)北陸銀行取締役会長
 塩井 保彦 (株)広貫堂代表取締役

【副代表幹事】2名

牧田 和 樹 (株)牧田組取締役社長
 桶屋 泰 三 桶屋税理士事務所所長

【常任幹事】9名

久郷 慎 治 (株)久郷一樹園代表取締役
 羽根 由 (株)生活ネット研究所代表取締役
 津嶋 春秋 (株)アーキジオ取締役会長
 大橋 聡 司 大高建設(株)取締役社長
 高林 幸 裕 北電産業(株)取締役社長
 白倉 三 喜 富山日産自動車(株)取締役会長
 稲田 祐 治 加越能バス(株)取締役社長
 池田 安 隆 (株)池田屋安兵衛商店代表取締役
 石坂 兼 人 石坂建設(株)取締役社長

【特別幹事】14名(うち、新任1名)

金岡 純 二 (株)富山第一銀行取締役会長
 永原 功 北陸電力(株)相談役

【会計監事】2名(うち、新任1名)

板谷 聡 板谷経営工房(有)取締役社長
 ◎中村 厚 日本クレアスコンサルティング(株)代表取締役

【幹事】87名(うち、新任6名)

四十物 直 之 (株)四十物昆布取締役社長
 浅野 雅 史 (株)パロン代表取締役
 五十嵐 博 明 (株)サプラ相談役
 池田 治 郎 富山いすゞ自動車(株)取締役社長
 石倉 央 (株)F P 不動産センター代表取締役
 伊勢 徹 (株)ライフサービス代表取締役
 市森 友 明 (株)新日本コンサルタント取締役社長
 伊東 潤一郎 アイティオ(株)取締役社長
 稲垣 晴 彦 北陸コカ・コーラボトリング(株)取締役会長
 ◎稲田 裕 彦 救急薬品工業(株)代表取締役
 井上 敏 夫 井上機材(株)代表取締役
 庵 栄 伸 (株)北陸銀行取締役頭取
 今井 壽 子 (有)ゼフィール相談役
 梅川 雅 之 富山信用金庫常勤理事
 梅田 ひろ美 (株)ユニゾーン取締役会長
 浦山 哲 郎 (学)浦山学園理事長
 小川 万里絵 日本銀行富山事務所事務所長
 奥野 博 之 オークス(株)取締役会長

押田洋治	(株)押田建築設計事務所取締役社長	藤井久丈	医療法人社団藤聖会理事長
◎尾城敬郎	三菱商事(株)北陸支店長	藤井裕久	(株)藤井産業取締役会長
小竹秀子	オダケホーム(株)取締役社長	細川泰郎	細川機業(株)取締役社長
片山浄見	(株)富山育英センター取締役社長	本間比呂詩	オリジン工業(株)取締役社長
金子政史	佐藤工業(株)常務執行役員北陸支店長	増山一雄	増山電業(株)代表取締役
川合紀子	(有)ステップアップ代表取締役	松嶋重信	(株)レシーム専務執行役員
河上弥一郎	河上金物(株)取締役社長	◎松田光司	北陸電力(株)取締役常務執行役員
神崎直志	三井物産(株)理事北陸支社長	松田登	ファイネクス(株)取締役会長
木村準	(株)日本抵抗器製作所取締役社長	水口昭一郎	立山科学(株)取締役会長
金田俊樹	(有)きんた代表取締役	翠田章男	(株)トンボ飲料取締役社長
黒田昭	(株)三田商会相談役	村尾于尹	(株)村尾地研取締役会長
小柴順子	(株)コージン会長	森幹男	森商事(株)代表取締役
◎小杉康夫	G R N(株)専務取締役	森田忠雄	(株)富山県義肢製作所取締役会長
小林紀男	富山日野自動車(株)取締役会長	森田弘美	(株)グループフィリア代表取締役
◎貞松孝洋	(株)みずほ銀行富山支店長	森田幸弘	(株)押田会計取締役社長
渋谷清澄	(株)エヌエスプレーン取締役社長	森藤正浩	正栄産業(株)代表取締役
島田俊晴	(株)島田樹脂代表取締役	矢野茂	北陸電気工事(株)取締役社長
島田好美	(株)島田商店代表取締役	山口昌広	北酸(株)取締役社長
千田由美子	(株)アイザック・ユー取締役会長	山下清胤	三協立山(株)相談役
高瀬幸忠	(株)スカイインテック取締役社長	山瀬孝	(株)ジェック経営コンサルタント取締役社長
◎高木悦朗	T S K(株)代表取締役	山野昌道	(株)チューリップテレビ取締役社長
高田順一	阪神化成工業(株)取締役社長	山本小恵	山本司法書士事務所所長
高田千明	高田食糧(株)取締役社長	遊道義則	(株)ユニオンランチ取締役社長
高野二郎	タカノ建設(株)取締役社長	吉岡隆一郎	(株)文苑堂書店取締役会長
武内繁和	武内プレス工業(株)取締役社長	吉田守一	(株)日本政策投資銀行富山事務所長
竹内茂	(株)婦中興業取締役社長	吉田登	北登精機(株)代表取締役
舘直人	たち建設(株)代表取締役	米田祐康	金剛薬品(株)取締役会長
田村元宏	(株)タムラ設計. 代表取締役	綿貫勝介	トナミホールディングス(株)取締役社長
土屋誠	日本海ガス(株)取締役社長		
寺崎敏治	富山製紙(株)取締役社長		以上
寺下利宏	(株)ソシオ代表取締役		(2021年4月27日現在)
東澤善樹	とうざわ印刷工芸(株)取締役社長		
中沖雄	(株)富山銀行取締役頭取	※当会では役職が代表取締役会長、代表取締役社長の	
中澤宏	(株)北陸銀行取締役常務執行役員	場合、「代表」は省略させていただいております。	
永田義邦	(一財)北陸予防医学協会理事長		
丹羽誠	(有)ライフプラン研究所代表取締役		
長谷川達雄	中央薬品(株)代表取締役		
針田正尚	クリーン産業(株)代表取締役		
東出悦子	(株)アイバック代表取締役		
福島鉄雄	(株)エフテック取締役社長		
福田可也	(株)クレハロ代表取締役		

子どもたちの「生きる力」を育もう

— 教育問題委員会、提言を発表 —

教育問題委員会（伊東潤一郎委員長）は、第10・11次委員会（平成29年度～令和2年度）の活動を総括し、提言「子どもたちの『生きる力』を育む社会の創造」をとりまとめ、3月幹事会での審議を経て、3月29日(月)に記者発表した。会見には、伊東委員長のほか、大橋聡司担当役員、高瀬幸忠副委員長が出席した。

提言では、次代を担う子どもたちの「生きる力」を社会全体で育ていくために、教師・学校、子ども、親・家庭の3つの柱に加えて、コロナ禍で顕在化したICT教育の課題について、取り組むべき方向性と10の方策を提示。

具体的には、教師力をより向上させていくため、企業人をはじめとした多様な交流機会の創出や教師の中長期インターンシップの実施、当会が長年取り組んでいる課外授業講師派遣のさらなる充実や、企業経営者として従業員の家庭教育へのサポート、さらにICT機器の活用や



提言を発表する伊東委員長（中央）

リテラシー向上支援など、ICTの特性を最大限活用した学びの充実などを提言している。

提言の記者発表後には、富山県教育委員会教育長へ



伍嶋教育長へ手交

提言書を手交。幹部職員との意見交換を行い、今後、提言内容の実現に向けて、連携して取り組んでいくことを確認した。

提言の概要は、以下のとおり。

〈委員長所感〉

これまでの社会課題だけでなくコロナの発生という、今までに経験したことのない課題を乗り越えていくためには、次代を担う人材育成が不可欠だという観点から、今回の提言をまとめさせていただきました。経済界を含む社会全体が一体となって取り組むことが大切です。提言の取りまとめにご協力頂いた皆様に感謝すると共に、これからもご協力をお願い致します。



伊東委員長

提言の概要

1 提言の趣旨

コロナ禍に象徴されるように、急激に変化する時代の中で、次代を担う子どもたちは、様々な社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に「生きる力」を高めていくことが必要。

子どもたち一人一人の可能性を最大限に引き出すために、子どもたちの「生きる力」を育む社会の実現を目指して、我々経済界も共に行動し、コロナ後の新しい時代にふさわしい教育の実現に貢献していく。

2 教育問題委員会での活動と課題等

3 今後の方向性と具体的な方策

教師 学校

- ・「教師力向上」の機会の充実
- ・教育現場の「働き方改革」の推進

- [方策①] 教師と企業人等との多様な交流機会の創出
- [方策②] 教師の中長期インターンシップの実施
- [方策③] 経済界や地域社会による学校教育への支援

子ども

- ・企業人による課外授業の充実・促進
- ・より多くの職業体験機会の提供

- [方策④] 課外授業講師派遣の拡充
- [方策⑤] 職業体験事業のさらなる推進

親 家庭

- ・「伝えよう“親心”推進月間」の充実
- ・親としての成長機会の提供

- [方策⑥] 家庭でのふれあい機会の創出
- [方策⑦] 家庭の教育力向上に対する取り組み
- [方策⑧] 企業における「仕事参観」の実施

ICT

- ・遠隔授業の環境整備
- ・ICTツールの活用促進

- [方策⑨] ICT機器の積極的な活用
- [方策⑩] ICTツール活用のためのリテラシー向上支援

持続的な地域の発展をーデジタル化の推進

～ 地域創生委員会、提言を発表 ～

地域創生委員会（山野昌道委員長）は、今次活動（令和元年度から2年度）の成果として提言『デジタル化推進による地域創生～「デジタル・ワンチーム」とやま～』をとりまとめ、3月幹事会での審議を経て4月14日(水)に発表した。

提言では、はじめにデジタル化が求められる背景や県内での取り組み状況などの現状分析を行うとともに、他都市におけるデジタル化推進などに関する先進事例について整理した。



提言を発表する
山野委員長と稲田担当役員

次に、デジタルという“手段”により目指すべきゴールを①利便性・生産性の向上、②安全・安心な社会の構築、③新しいサービスのビジネスの創造による「地域全体としての「都市力」

「地域力」の向上」であるとし、具体的なイメージを示すとともに、この実現に向けた課題を整理した。

これらを基に、行政・経済界・社会全体が取り組むべき施策の方向性として①県と市町村が一体となった行政のデジタル化、②経済界が取り組むべきデジタル化、③産学官連携による社会全体のデジタル化を挙げ、それぞれの観点から取り組むべき13の施策について提言した。

提言の概要は下記のとおり。

〈委員長所感〉

デジタル化は目的ではなく手段です。富山県、富山市、高岡市のトップがともに変わる今こそ、地域が一体となって地域力向上を図るべきであり、そのきっかけとなりベースとなるのがデジタル化であると思います。

具体的な行動につなげていきたいと思っています。

担当役員、委員の方々をはじめ、提言作成にあたりご協力賜りました皆様に心から感謝申し上げます。



山野委員長

提言の概要

○提言の趣旨

人口減少時代における地域創生として、行政や民間、大学や研究機関、地域住民らが一体となったデジタル化の推進による地域活性化について提言

○提言の構成

1. 現状認識

デジタル化が求められる背景、県内の取り組み状況（自治体、民間）、新型コロナウイルスの影響などを整理

2. 他都市の事例

福島県会津若松市、香川県高松市の事例

3. 目指すべきゴール

①利便性・生産性の向上、②安全・安心な社会の構築、③新しいサービスのビジネスの創造による「地域全体としての「都市力」「地域力」の向上」

4. 現状の課題

行政システムの不統一、自治体間の連携不足、データ分析人材の不足、企業の理解・参画不足などを整理

5. 採るべき施策（提言）

- ①県と市町村が一体となった行政のデジタル化
- ②経済界が取り組むべきデジタル化
- ③産学官連携による社会全体のデジタル化の観点から13の施策を提言

〈別冊〉富山の経済人が本気で考えて実際にやってみて！ とやま半日観光コース

高度人材の確保育成のための新たな協働・連携事業の推進 ～人財創出委員会が提言～

人財創出委員会（中澤宏委員長）は、今次活動（令和元年度から2年度）の成果として提言『高度人材の確保育成に向けた新たな協働・連携事業の推進』をとりまとめ、3月幹事会での審議を経て4月14日(水)に発表した。



提言を発表する
中澤委員長と石坂担当役員

提言では、まず富山県の現状分析をおこなった上で、委員会が2年間で取り組み実施してきたことからの学び・考察を踏まえて、富山県が抱える課題を明らかにし、解決に向けての具体的なアクションプランを提示した。

高度人材の確保育成に向けた3つの提言として、①富山型地方創生テレワークの推進、②U I J ターン・人材マッチングの促進、③起業支援のそれぞれについて、官民・（公社）経済同友会との新たな協働・連携モデルを示した。

次年度以降は、「人財活躍委員会」として本提言の実装、各組織との協働・連携による実証を行っていく。

提言の概要は下記のとおり。

〈委員長所感〉

これまで希薄だった各分野における組織間の連携を強め、プラットフォーム化させていくために、当会が結節点の役割を担っていきたいと考えています。

来年度以降は、本提言の実装期間として具体的に官民・東京の経済同友会等との連携を図り、目指すべき姿に向かって一歩ずつ具体化させていきます。

委員の方々をはじめ、提言作成にあたりご協力賜りました皆様に心から感謝申し上げます。



中澤委員長

提言の概要

○提言の趣旨

高度人材の確保育成に向け、「富山型地方創生テレワークの推進」「U I J ターン・人材マッチング」「起業支援」についてそれぞれ官民・（公社）経済同友会等との新たな協働・連携モデルを提示。

○提言の構成

1. 日本と富山の現状分析

人材不足、多様な働き方、起業支援、留学生就労支援等について現状を分析

2. 富山県の人財創出における課題と解決策

人材不足、多様な働き方、起業支援、留学生就労支援に対する課題と解決策を提示

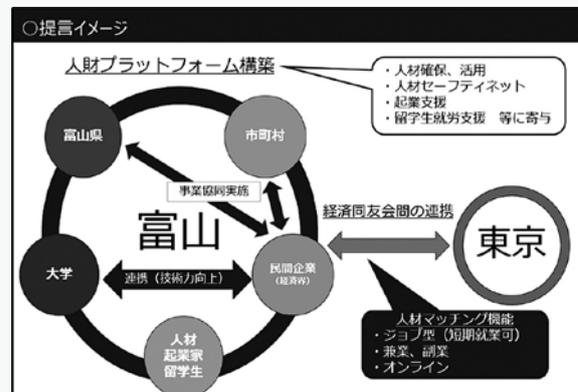
3. 委員会の2年間の取り組みと学び・考察

アンケート調査、講演会やイベント開催等の取り組みから得た学びの整理・考察

4. 具体的なアクションプラン

以下3つの提言について、新たな協働・連携モデルを示し、アクションプランを提示

- ①富山型地方創生テレワーク
- ②U I J ターン・人材マッチングの促進
- ③起業支援



テクノロジー・プラットフォーム・イノベーションで業界を変革！ 松本恭攝氏講演 — 3月会員定例会 —

3月会員定例会が3月3日(水)、富山第一ホテルで開催され、ラクスル株式会社 代表取締役社長 CEO の松本恭攝氏が「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」と題して講演を行った。講演会は人財創出委員会（中澤宏委員長）が主管し、東京と会場をオンラインで結びリモート登壇の形で行われ、オンラインを含め会員約160名が参加した。

松本氏は、まず故郷富山への想いに触れてから、自社の歴史と変革してきた業界のサービスについて説明。印刷業界の「ラクスル」、物流業界の「ハコベル」、広告業界の「ノバセル」という3つのサービス運営について解説した。

また、自身が重視するビジネスの考え方としてシェアリングエコノミーとプラットフォームを掛け合わせた自社の造語、「シェアリングプラットフォーム」について説明した。製販一体

の垂直統合型のビジネスモデル、ピラミッド構造の問題点を指摘し、こうした産業構造をインターネットテクノロジーを入れて



変えていくことが自社のミッションだと伝えた。

最後に、今の大河ドラマの主人公・渋沢栄一は私の人生のロールモデル。渋沢さんのように何百という数は難しいが、大きな業界を10個ぐらひは変えるテクノロジー・プラットフォーム・イノベーションを起こしていきたい。二、三十年をかけて21世紀の様々な産業インフラをつかっていきたい、と壮大なビジョンについて語り、講演を締めくくった。

3月会員定例会(R3.3.3)講演録

「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」

講師：ラクスル株式会社 代表取締役社長CEO 松本 ^{やすかね} 恭攝 氏



18歳のとき、富山はダサイ、早く出たいとの思いで東京へ向かいましたが、十数年ぶりに戻ると、自然や食事など本当に恵まれた土地だと

(講師プロフィール)

1984年富山県生まれ。慶應義塾大学卒業。A.T. カーニーに入社し、コスト削減プロジェクトに従事する中で、印刷費が最もコスト削減率が高いことに気づき、印刷業界に興味を持つ。

業界の革新を志し、2009年にラクスル株式会社を設立。2013年より印刷機の非稼働時間を活用した印刷のEコマース事業「ラクスル」を提供。また、2015年12月より物流のシェアリングプラットフォーム「ハコベル」を開始し2020年4月からは広告の新規事業「ノバセル」を展開。

「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」をビジョンに巨大な既存産業にインターネットを持ち込み、産業構造の変革を行う。

実感しました。あわせて、岩瀬のまちづくりをはじめ、センスや情熱を持ってその地域のよさを最大限に引き出すリーダーがたくさんいます。

友人たちはそんな方々と出会い、おいしい食事を取りながら語り合ったことが体験となり、富山を好きになって帰ります。そんな地元・富山が今では誇りです。

◆ 変革した3業界のサービス

当社は2009年に設立、一昨年8月に東証一部に上場し、現在、時価総額1,000~1,500億円を行き来する会社です。インドとベトナムのスタッフ約50名を含め、社員数は約360名。「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」というビジョンを掲げ、歴史ある産業にインターネットを持ち込み、産業構造そのものを変えることでより良い社会をつくることをコンセプトに、印刷業界で「ラクスル」、物流業界で「ハコベル」、広告業界で「ノバセル」という3つのサービスを運営しております。

・ラクスル（印刷）

主にチラシなどの印刷物を簡単に発注して受け取れるサービスです。日本中、100社強の印刷会社とネットワークし、自分たちでは印刷機・工場を持たずに、印刷会社の空いた時間を活用することでオンラインの需要とのマッチングを図ります。

誰でも「ラクスル」（楽にする・刷る）というコンセプトの下、印刷に不慣れな方でもテンプレートから選んでオンライン上で編集して、簡単にチラシができます。また、最近では、紙以外への印刷でノベルティ制作、マスクやお菓子、ウェアなど幅広い物のカスタマイズも行っております。

また、チラシ印刷後、例えば富山駅の周辺で何月何日に配りたいとします。グーグルマップを使い、オンラインでエリアを選択。すると、ポストへの投函部数、印刷プラス配布の単価が表示され、その合計額でマーケティングのお手伝いが可能となります。つまり印刷後、それを配布することによる集客支援まで行えます。

具体的には、まずお客様から我々に発注いただき、その情報を整理した上で複数の会社に発注をかけます。その印刷をした印刷会社、また配布会社からお客様に物を届けていただく。我々はお客様からお金をいただき、利益を差し

引いた部分を印刷会社、配布会社にお渡しする形です。自分たちではアセットを抱えずに、インターネットで集客し、その情報を効率よく生産できるような形に加工してお客様にお渡しする、ある種のアグリゲーター、コーディネーターのようなビジネスです。このラクスル、印刷を中心とした事業は約200億円の売上げになっております。



この事業を2つの方向で拡張しようとしています。まず、ポスティングチラシです。中小企業を中心に60万社、個人も含めると130万のお客様にご利用いただいておりますが、ラクスルで刷るといのは、印刷物よりも、チラシを使いアクセスしたお客様を獲得したいという販促目的のケースが多いので、集客支援による販促の最大化を図りたいのです。

また、我々は非常に強い生産性向上のコンサルティングチームを持ちます。工場はあるが、なかなか販売ができない。ましてやオンラインではという会社に対し、マーケティングをしますので商品をご提供くださいという形で、B to Cは強いが、B to Bが弱い会社の販売チャネルになるために、印刷外への領域拡張に注力しています。

そうした中、小さな会社でも簡単にホームページが作れるサービス「ペライチ」で、例えばマッサージ屋さんは、オンラインで予約や事前決済だと20%オフのようなサービスも可能になりました。また、取得が難しく高い段ボールを、日本全国の段ボール会社をネットワークし、小ロットで購入して自社の印刷も入れられるサービスで急成長するeコマースの会社・ダンボールワンに、当社グループに参画いただきました。

・ノバセル（広告）

広告業界は、電通の中興の祖・吉田秀雄さんが、日本全国のテレビ局のネットワークをつく

KOUENROKU

り、視聴率という概念を発明するなどしてこれまで展開してきました。すばらしい仕組みですが、これだけ多くの人がインターネットを使い、eコマースの時代になる中で、テレビCMの在り方をアップデートしていこうとスタートしたのがノバセルです。

テレビCMは非常に高額に思われる集客手段ですが、同じ本数を流しても、富山であれば東京の100分の1のコストで済みます。広告代理店は、小さな会社には、手間の割に利益が上がらないというので、あまり売りがありません。そこで、地方で細切れにして販売することによって、どこでもテレビCMを集客手段として使えるように考えました。

テレビCMには課題が2つありました。1つは大きなクライアントにしか販売に行かなかったこと、もう一つは、認知率でこの業界のコミュニケーションは図られていましたが、それが上がっても売上げや利益の増加に直結するわけではないことです。そこで、広告投資が幾らの売上げ、利益になったのかを計測して費用対効果が明確に見えるように、新たに運用型テレビCMの提供を始めました。効果が実感できない、広告業界が抱えるアナログ的な部分をインターネットの活用で自動化し、生産性を上げていく取組です。

効果の可視化として、ウェザーニューズ（気象情報会社）のスマホアプリの事例です。テレビCMは多くても二、三パターンしか作りませんが、121パターンづくり、エリア別や今日の天気と連動させる形で毎日違うクリエイティブをインターネット広告のように非常に細かく流していき、どういうCMだとたくさんダウンロードしてもらえるのかを1分単位で計測するのです。そして、その時間にサイトに何人来て、ダウンロードが何本行われたのかを全てデータで可視化し、取捨選択を繰り返していくと、効率のいいテレビCMだけが残ります。悪いものとは費用対効果に10倍以上の差が出ます。

テレビCM業界を、タレントとキー局、そしてゴールデンタイムというパッケージで何億円のビジネスから、1本10万円のクリエイティブ、1回の放映を数千円に。大手広告代理店のテレ

ビCMアプローチとは全く違う形で業界を変えていきます。直近では、広告業界第3位のADKと提携して、一気にシェアを伸ばしにしております。

・ハコベル（物流）

今度は物流ですが、これも我々はトラックを持っておりません。日本全国の運送会社にこのアプリをダウンロード、もしくはオンライン登録していただくと、ハコベル上で仕事が流れます。お客様が配達場所や日時を入力すると金額が表示され、ドライバーに情報が行き、最短だと1時間以内で荷物を受け取りに来てくれ、配達先に届けられます。

つまり、基本的にはウーバーのトラック版マッチングですが、このプラットフォームを提供するだけではなく、効率よく運送会社が仕事でき、荷主が運送会社とつながるためのシステムを開発し、提供しています。

これまで大手の会社では、運送計画づくりを数名が自らの勘や経験を基にエクセルで行っていたのでなかなかそのデータが最適化されませんでした。荷物の情報を全て見える化して、トラックや積載順による効率的な配送、また運送を委託する際のコストや配送ルートなどをAIによって最適化していくエンジンをお客様に提供しております。

ハコベルでは、運送会社やメーカー、荷主もお客様になっていただき、こうしたシステムの提供、マッチングという2つのビジネスを行っております。

運送業界は情報が分断されていることが非効率の最大の原因です。どの会社が空いているのか、荷物を運べるのか、どこに荷物があるのかという情報がばらばら、しかもアナログでつながらない。これを全てオンラインに乗せてデータとして一元管理して最適化することによって業界の非効率を変えていく取組がハコベル



の事業です。

我々の事業全体では、印刷が6割、広告が3割、物流が1割で、コロナで大分影響を受けたのですが、年40~50%の成長を続けております。

◆ シェアリングプラットフォームで水平分業に重視する考え方、ビジネスのつくり方として「シェアリングプラットフォーム」があります。シェアリングエコノミーとプラットフォームを掛け合わせた当社の造語です。

これまでは多くの産業でアセットヘビー、銀行から大きく借り入れ、多くの機械を購入し、販売員を雇用することによって製造と販売を一体化する製販一体の垂直統合が成立していました。そして、大きな会社が自社のキャパシティー以上の仕事を請けて、下請の会社に製造してもらう。下請、元請、孫請がそれぞれ少しずつ利益を得ている、最適化されたピラミッド構造になっていました。しかし、この取引では、仕事をする人の受取額と依頼する人の支払額に大きな乖離が生じます。大企業から小企業に仕事が渡る間にあるたくさんのレイヤーが、ある種の摩擦になってしまうのです。

こうした産業構造を、インターネットテクノロジーを入れて変えていくことが我々のミッションです。具体的には、小さな印刷会社や運送会社をネットワークして仮想的に大きな会社をつくることにより、ダイレクトにプラットフォームのラクスルやハコベルを通じて小さな会社にアクセスし、仕事をしていただきます。

これまで大企業は、供給する物の量と質、そして信用（決済）を保証する3つの大きな役割を担っていました。これがまさに摩擦として発生するコスト部分ですが、ラクスルの事業であれば、200人弱で200億円以上を売上げ、1人当たりでは大企業に比べて非常に高い生産効率を誇ります。それは、労働集約ではなく、日本

中の人が使えるテクノロジー、エンジニアが中心の会社だからです。このテクノロジーが信用と供給と質を保証することによって、大企業の役割をプラットフォームが代わって担えるのです。そして、非常に効率のよい需要と供給のマッチングが産業の在り方を変え、結果的に末端で実際にサービスを提供する方々がこれまでより多くお金をもらえ、支払う側も安く上がります。

このように、取引の摩擦を減らし、垂直統合されていた産業構造を製販分離の水平分業にしていくことにより、デジタル時代の21世紀型産業構造づくりを目指しているのです。

また、我々は売上総利益を最大化させることを重視しています。売上げはお客様からの信頼を表し、そこからサプライヤーにどれだけ支払えるかがその産業に対する価値貢献となります。この差分が売上総利益であり、社会における我々の存在価値を示すと思うからです。そして、大きな利益を出すよりも人財投資でイノベーションを生み出し、産業の在り方を変えていくことを経営の柱にしております。

実は4つ目の事業も準備中です。新規事業を考える際には、まずB to Bに絞ります。そして、巨大な市場で多重下請構造にあり、業務が非常にアナログだからこそ低利益の業界が対象となります。デジタル化、効率化することで利益率は大きく上げられますので、eコマースやシェアリング、業務ソフトウェアによりアプローチを図ります。こうした業界特性とアプローチを一定程度型化して、たとえその業界の経験がなくても、課題の解決方法を常日頃から考えながら事業を開発しております。

★ ☆ ★ ☆ ★

今の大河ドラマの主人公・渋沢栄一は人生のロールモデルです。渋沢さんのように何百という数は難しいのですが、大きな業界を10個ぐらいいは変えるテクノロジー・プラットフォーム・イノベーションを起こしていきたいと思います。二、三十年をかけて21世紀の様々な産業インフラをつくっていくことが私のビジョンです。



初のリアルとオンライン併用で開催 第33回全国経済同友会セミナー（デジタル大会）

全国44経済同友会は、4月8日(木)、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で「リアルとオンラインを組み合わせた新たな形式」で、第33回全国経済同友会セミナーを開催した。今年度は、『新しい日本の再設計～コロナショックを新日本創造の契機に～』をテーマに、リアル（東京）とオンライン合わせて、全国から約1,100名の企業経営者らが参加、当会は、リアルは塩井保彦代表幹事、オンラインでは18名が参加した。



塩井代表幹事

開会に先立ち仙台経済同友会が制作した「震災から10年、そしてこれから」と題するビデオ上映が行われ、東日本大震災からの復興状況について大山健太郎代表幹事のメッセージを添えて報告された。

開会では、全国セミナー 企画委員長の(公社)経済同友会 市川晃副代表幹事が挨拶。コロナ禍がもたらした価値観の変容やデジタル化の進展を柔軟に受け止め、それぞれの地域や事業分野において新たな価値創造へと繋げていきたいと抱負を語った。



基調講演

続いて基調講演が行われ、華厳宗 管長・第223世東大寺別当 狭川普文氏が「奈良時代における医療体制から学ぶ～感染症対策に対する取り組み～」と題して講演した。狭川氏は日本において医療福祉が国の施策として始まったのは、聖武天皇（724年に即位）が医師を全国に派遣し、病人への医療と栄養補給を指示する詔を出した726年だと説明。730年には聖武天皇の妃、光明皇后が皇后宮職に施薬院を設置し庶民にも医療の恩恵が及ぶようにした。また、735年に日本に天然痘が大陸から伝わり大流行したが、聖武天皇は救済策として税の免除や罹

災者に米穀の支給などを行い、738年の1月には天然痘の流行は終息したとのことである。



その後、2つのパネルディスカッションが開催された。最初のテーマは「新時代を生き抜く真のDXを実現するために」と題し、日本のデジタル化の課題についてディスカッションが行われた（モデレーター：尾堂真一氏（中部経済同友会 代表幹事）、パネリスト（奥田直彦氏（総務省）、関行秀氏（日本電気株）、小宮昌人氏（株野村総合研究所））。デジタル庁創設など官のデジタル化推進の動向、民間企業、特に製造業のデジタル化の推進について意見交換された。

続いて、「分散型社会～東京一極集中の是正～」と題するパネルディスカッションが開催された（モデレーター：秋池玲子氏（(公社)経済同友会 副代表幹事）、パネリスト：貫正義氏（福岡経済同友会 代表幹事）、大山健太郎氏（仙台経済同友会 代表幹事））。



貫代表幹事は初めに昨年11月に開催された札幌・四極円卓会議で共同声明を出し、東京一極集中是正を国に求めたことを紹介、その後、福岡経済同友会と仙台経済同友会の分散型社会実現に向けた取り組みを両代表幹事が説明した。

閉会にあたり、(一社)関西経済同友会の古市健代表幹事が本大会のアピール文を発表したあと、次期開催地の(一社)神戸経済同友会 富田健司代表幹事が挨拶、最後に(公社)経済同友会の櫻田謙悟代表幹事が閉会挨拶を行いセミナーが終了した。

企画総務委員会

新ホームページと記念式典のしおりについて意見交換 — 第8回 —

3月3日(水)、第8回企画総務委員会(桶屋泰三委員長)が富山第一ホテルで開催され、委員12名が参加した。20年振りにリニューアルするホームページと創立60周年記念式典で配付するしおりの内容について意見交換した。桶屋委員長が挨拶の後、羽根由60周年記念事業担当役員が議事を進行した。ホームページについては、製作中のホームページをスクリーンに投影し、各委員に意見を求めた。「非常に見やすい」と感想を述べる委員が多く、「トップページには当会の活動を掲載することを今後検討したらど

うか」、「会報もホームページで閲覧できるようにしたらどうか」などの意見がでた。

次に、記念式典で配付するしおりの内容について意見交換を行い、しおりには、この10年間に策定した提言のタイトルが掲載されており、提言の詳細をQRコードからホームページで閲覧できものとした。



いよいよ60周年記念式典！ — 第9回 —

4月16日(金)、第9回企画総務委員会をインテックビル2階会議室で開催し、委員11名が参加した。今回は、2021年度定時総会ならびに創立60周年記念式典当日の運営について、企画総務委員会で協力して実行するため、事前打ち合わ

せとして開催した。当日の流れを事務局が説明し、各場面を頭に描きながら意見交換を行い、タイムスケジュールに基づき役割分担、当日の動きについて確認した。

2年間の活動を総括 — 第6回働き方改革委員会 —

働き方改革委員会(遊道義則委員長)は3月17日(水)、オークスカナルパークホテル富山において、今次最終となる第6回委員会を開催し、委員32名が出席した。

冒頭、遊道委員長が「コロナで、世の中は非常に速いテンポで変化すると改めて実感した。考え、行動せざるを得ない状況になったという点でプラスの面もあったのではないかと思います」と挨拶した。



遊道委員長

会議では、2年間の活動内容をまとめた報告書案が了承された後、2年間の委員会活動を振り返って、出席した委員から「講演を聞くだけでなく、考える場を提供してもらったのがよかった」「自社の取り組みのきっかけになった」「ワークショップ形式の意見交換が有意義だった」などの感想が述べられた。

続いて、富山県総合政策局少子化対策・県民

活躍課長 山下章子氏を講師に招き、「人口減少社会と働き方改革」と題して講演会を開催した。山下氏は、富山県の少子高齢化の状況を説明し、今後の展望として「働き手を増やす、出生率を上げる、労働生産性を上げる」ため



山下講師

に、一刻も早く働き方改革が必要であると訴えた。そして、「働き方改革は企業の文化を変えること」であり、時間制約のある人が増え人材確保がより困難となる中、これからの職場は「男女がともに活躍し、短時間で効率良く、多様性に満ちた組織」となることが必要であると説明した。

最後に、津嶋担当役員が「人口減少に耐える社会を作っていくには、働き方改革においても新しいモデルへの転換が必要。未来をどう創るかという切り口で今後も活動を続けてほしい」と挨拶し、今次委員会を締めくくった。

これからの時代に求められること

— 課外授業講師派遣 —

第15回 富山県立富山北部高等学校

令和3年3月5日(金)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長)が富山県立富山北部高等学校において、1学年239名を前に「AI時代によりよく生きる」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長ははじめに、計算式は誰がやっても同じ答えになるが、社会に出ると、人によって答えが異なる問題に多く直面するとし、その際、AIは答えを考えるガイドになるかもしれないが、データに基づく確率論であり、必ずしも正しいわけではないと説いた。

そして、我々は自分と自分以外の他者との関わりを前提とした社会で生きており、人と人との間につながりのある人間社会では相手のことを考えることが大事だが、AIにはそれができない。「これから、AIができることとAIではできないことに社会は分かれていく。AIと同じことをやるような人生を歩んでいては、よりよく生きることとはできない」と訴えた。

さらに、「自分以外の人との関係をどれだけ

良くするかによって、人生は大きく変わる」としたうえで、人間の関係には、興味、好意、共感、信頼、尊敬という段階があり、人間社会において人間関係を良くするには周りの人を思いやるのが大切。「より多くの人とこのプロセスを築いていくことで人生は豊かになり、AIに勝つことができる」と強調した。

最後に、「思いやりを実践するには力が必要であり、知識がないと対応することはできない。今、学校で学んでいることは、これから社会に出ていろいろな問題を解決するために必要な知識であり、それが人生の礎となり将来に繋がっていく」と述べ、授業を締めくくった。



「AIにできないことを見つけよう」と牧田社長

「障子を開けてみよ、外は広いぞ」

神崎直志氏・富山県市町村新任職員研修で講演

令和3年4月23日(金)、神崎直志氏(三井物産(株)理事・北陸支社長)が県内15市町村・共済組合の新任職員181名を対象にオンライン講演を行った。

神崎支社長はまず、自己紹介を兼ねて総合商社の生い立ちを紹介。商社が国内外の情勢の変化に合わせて仕事の中身を変化させてきたことを、自身の経験談やエピソードを交えて紹介した。

次に、これから地域の行政サービスを担う新任職員に「3つのメッセージ」と題し語りかけた。

(1)世界は多様性に満ちている

三井物産では外国人と共に働くのは当たり前。人種や国籍に関わりなく共に新しい価値を創っています。富山でもバスケの八村選手や歌手のCHIKOさんを富山人として皆さん応援していますよね。一段進めて、富山を良くしようと働く人、富山を愛する人たちを、仲間として心を開いて迎え入れて欲しいと思います。今後地方は、急速に人口が減少する中、いかに広く多様な人々を受け入れられるかが勝負です。

(2)やっぱり勉強しましょう

日本人は先進国の中でも、学校を卒業した後、最も勉強しない国民と言われています。民間では「Pay for Performance」(注:年功ではなく業績

達成度に基づく賃金体系)が当たり前前で、終身雇用制の維持も徐々に難しくなっています。勉強して、是非自分の価値を高めていってほしいと思います。

(3)道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である

これは二宮尊徳の言葉。前半部分は自明だが、自分は後半部分に意味があると思っています。「精神論だけでは生きていけない。価値を作り出し、社会的な富を生み、サステナブルに再生産していくことが重要」と解釈しています。

今後皆さんが従事される行政の仕事は、社会的に意義ある良い仕事です。それに満足せず、効率的か、経済的にサステナブルか時々点検してみてください。

最後に「障子を開けてみよ、外は広いぞ」とのトヨタグループ創始者・豊田佐吉の言葉を引用。「富山は世界でも有数の素晴らしい街。ただ、他にも素晴らしい街、素敵なモノは沢山ある。是非、外へ出て勉強し、見聞を広げていって欲しい」とエールを贈り、講演を締めくくった。



神崎支社長

慶事のお知らせ

おめでとうございます

令和3年春の叙勲、褒章において、当会会員が晴れの栄誉を受けられました。心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

旭日双光章



金尾 雅行 氏

富山港湾運送(株)
取締役社長
(当会 特別幹事)

黄綬褒章



堂田 重明 氏

(株)福見建築設計事務所
取締役会長

熱い応援が勝利を導く

～ 「同友会の日」 富山グラウジーズ ホームゲーム観戦 ～

3月24日(水)、文化スポーツ委員会(五十嵐博明委員長)は地元プロスポーツを応援する「同友会の日」を開催し、富山市総合体育館において富山グラウジーズ対宇都宮ブレックス戦を観戦した。

1試合当たりの平均失点がりーグ最少で首位を走る宇都宮と、1試合当たり平均得点がりーグ最多で5位に付けている富山との好カードであり会場はほぼ満席となる中、当会も麦野代表幹事、牧田・桶屋両副代表幹事をはじめ会員はもとより、会員所属企業の従業員とその家族など約320名が参加する大応援団となった。

試合前に五十嵐委員長より激励の挨拶があり「富山グラウジーズの勝利に向けてみんなで応援しよう！」とスタンドの観客に熱く訴えた。



五十嵐委員長 激励の挨拶

試合は富山の猛攻とゾーン守備が冴えわたり14点リードで前半を折り返すも、宇都宮の必死の追い上げによる大接戦となった。最終盤まで激しい攻防が続いた結果、試合時間残り1分のところで決勝シュートを決めた富山が90-85で追いすがる宇都宮を制し、見事な勝利を飾った。

当会大応援団より、選手の気迫あふれるプレーへの大きな拍手が送られるなど会場は終始熱気に包まれるとともに、職場の同僚や家族で観戦するなど参加者は楽しいひと時を過ごしていた。



試合観戦



職場の仲間と応援



「ふるさと富山を売り込みたい！」

小川 万里絵

(日本銀行富山事務所 事務所長)

プロフィールは富山市出身ですが、実は東京生まれ、富山に住んでいたのは小4～高3です。転入した富山市立五番町小学校の校歌は、サトウハチロー作詞・古関裕而(朝ドラ「エール」の主人公)作曲。「青空よりも明るく清く大きく豊かに美しく…」と、ずっと子どもたちへの注文が続くのですが、平易で美しい詞と明るいメロディのよい歌でした。

中高時代は、総曲輪と中央通りの喫茶店、ラーメン屋、マンガの立ち読みOKだった本屋(ごめんなさい)等を寄り道してばかりしていました。街中に4、5件あった映画館や県民会館・公会堂の演劇やコンサートにもよく行きました。

大学進学で上京し就職、帰省のたび街中の変貌を寂しく思いました。しかし、2年前に思いがけず富山勤務となってみると、これまでわからなかった富山の豊かさが見えてきました。

製造業の強さは健在です。農地の隣の広々とした敷地に大きな工場、自慢の製品の展示スペースやときに博物館を備えた社屋。社長さんは、グローバルな経営戦略について語ります。街中にかつての賑わいはないものの、新しいオーバードホール、SCにはシネコン、おいしいケーキ店や素敵なカフェは住宅街の中、県内各地に新鮮な食材を使った本当に美味しくてインテリアにも凝った飲食店がたくさんあり、地元のグルメの方々が楽しんでいます。

一方、観光面ではまだまだといえます。転勤者が皆さん「富山はいいところ」とおっしゃるのに慢心してはいけません。以下、僭越ながら個人的意見を書かせていただきます。

富山の観光といえば、「立山黒部アルペンルート」や「美しい富山湾」。たしかに素晴らし

いのですが、例えば首都圏の個人旅行が好きな女性が行先を決める場合にはやや抽象的。

アルペンルートならば雪の大谷だけでなく、「みくりが池」や「美女平」、「称名滝」などの個々の名前と魅力がもっと有名になればそこに行ってみたいという人が増えるはずです。

富山駅から船でもライトレールでも行ける岩瀬の町並みや古家を活かしたお店も素敵です。高岡駅からは徒歩圏内に国宝瑞龍寺や大仏や古城公園、山町筋や金谷町の町並みがあります。どちらも写真をSNSにアップすると友人たちから驚くほど反響があります。

場所に結びついたストーリーも大事です。瑞龍寺にある猪頭天像の耳はネズミに食べられてしまったそうですが、高岡出身の藤子・F・不二雄さんは、これをヒントにドラえもんは「耳をねずみにかじられたのでねずみが怖い」という設定にしたという話があります。確証はないものの、世界中のドラえもんファンが来て猪頭天を見たくなるエピソードでしょう。

挙げるときりがありませんが、美味しいお取り寄せ食材等も含めて、ひとつひとつが、本当に全国的に知られていないのです(無念)。「たいしたことないちゃ」から脱却すべきは今です。

さらに、サービス業の方には、地元以外のお客様に向けたサービスをお願いしたいです。ランチのメニューや価格をお店の外に掲示したり、閉店している時間帯には営業日・時間がわかるようにしたり、車でなくともガラスや金属の工芸製作体験ができるよう、バスの運行時刻を便利にする、といった簡単なことなんです。

(次号は(有)ジェイシーバール取締役社長の)
嶋 龍仁 様です。

活動報告

3月1日～4月30日

○幹事会・定例会等

開催日時・場所	内 容	出席者
3月3日(水) 17:00～18:30 富山第一ホテル	3月幹事会・会員定例会（人財創出委員会主管） 講師：ラクスル(株) 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝 氏（オンライン登壇） 演題：「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」	約160名
4月14日(水) 16:00～17:00 富山電気ビルディング	4月幹事会	50名
4月27日(火) 14:30～15:45 富山国際会議場	2021年度定時総会	約200名

○委員会

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
3月3日(水) 15:00～15:50 富山第一ホテル	第8回企画総務委員会	・ホームページのリニューアルについて ・60周年記念式典のしおりについて	12名
3月8日(月) 10:30～12:00 事務局会議室	地域創生委員会 第10回正副委員長会議	・フィールドワーク「大人の遠足」 発信について	9名
3月12日(金) 11:30～13:00 事務局会議室	企業経営委員会 第4回正副委員長会議	・2021年度の活動計画について	6名
3月17日(水) 17:00～19:40 オークスカナルパーク ホテル富山	第6回働き方改革 委員会	・今次委員会活動の総括 ・講演会 演題：「人口減少社会と働き方改革」 講師：富山県総合政策局少子化対策・ 県民活躍課 課長 山下 章子 氏	32名
3月22日(月) 17:30～20:00 バルツェル	人財創出委員会 第11回正副委員長会議	・（公社）経済同友会訪問 報告 ・とやナビプロジェクト ーミートアップ富山ー結果報告 ・今後の活動計画について	6名
4月7日(水) 17:30～20:00 醍醐富山店	地域創生委員会 第11回正副委員長会議	・今次活動の総括について	7名
4月12日(月) 11:30～13:00 事務局会議室	企業経営委員会 第5回正副委員長会議	・委員会の活動計画について	10名
4月16日(金) 11:00～12:00 インテックビル2階 会議室2	第9回企画総務委員会	・総会、60周年記念式典の運営に ついて	11名
4月19日(月) 11:00～12:30 事務局会議室	文化スポーツ委員会 第7回正副委員長会議	・今次活動の総括について	5名

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
4月30日(金) 11:00~12:45 事務局会議室	地域創生委員会 第1回正副委員長会議	・今次活動方針、活動計画(案)について ・今年度スケジュール(案)について	10名

○課外授業講師派遣

開催日時	学 校	対 象	講師・演題
3月5日(金)	富山県立富山北部 高等学校	1学年239名	牧田 和樹 氏 「A I時代によりよく生きる」

○同友会諸会合

開催日	内 容	場 所
4月8日(木) 13:00~17:30	第33回全国経済同友会セミナー(デジタル大会)	東京マリオットホテル (オンライン開催)
4月27日(火) 16:00~17:00	創立60周年記念式典	富山国際会議場

○その他の会合

開催日	内 容	場 所	出席者
3月17日(水)	令和2年度第1回富山県リサイクル認定 検討会	富山県民会館	有藤事務局長
3月24日(水)	第2回富山県SDGs推進連絡協議会	富山県民会館	有藤事務局長
3月24日(水)	同友会の日「富山グラウジーズ戦」(観戦)	富山市総合体育館	約320名
3月29日(月)	第10回とやま未来創造県民会議	富山県民会館	麦野代表幹事
4月23日(金)	富山県市町村新任職員研修(講師)	富山県市町村会館 (オンライン講演)	神崎幹事

会員の入退会

(3月・4月幹事会)

1. 最近思うこと
(社業についての抱負や最近の政治・経済・社会情勢等についての考えなど)
2. 生活信条(座右の銘等)
3. 趣味

入会



しお い ひと し
塩井仁司
(有)道正昆布
代表取締役
(紹介者：桶屋泰三氏)

1. 新型コロナ感染拡大が止まらない状況です。これからはコロナウイルスとどう向き合っていくか、どううまく付合っていくかを考えながら新しい事に挑戦しなければと思います。
2. 「楽しまずしてなんの人生ぞや」特にこの時期、楽しい事を考えて元気に過ごしていく。
3. スキューバダイビング・釣り



ちゅう じょう みち やす
中条充康
(学)北日本自動車学校
理事長
(紹介者：白倉三喜氏
石倉 央氏)

1. 貴同友会に入会しましたからには、これからは多くの社長様にお会いしお話をお伺いしたいと存じます。富山ドローンスクールを運営しています。ご連絡をお待ちしています。
2. やってみせ 言ってきかせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ
3. 絵画(油絵・水彩)、アイスホッケー

交代



は ね けい き
羽根敬喜
富美菊酒造(株)
代表取締役
(紹介者：牧田和樹氏
田村元宏氏)

1. コロナ禍の中、自社のお得意先様である酒販店様や飲食店様方のことや経済的、軍事的に力をつけた中国の海外への経済、軍事両面での脅威、日本の国力の現況などが気になります。
2. 「怠けず、怒らず、腐らず、驕らず」
3. 旅行・スポーツ観戦



あさ の しん いち
浅野慎一
YKK(株)
副社長 黒部事業所長
(前：井上 孝氏)

1. コロナ禍によりテレワーク対応もしているが、製造現場では対応が限定され、継続的な環境負荷低減にむけ、車通勤から公共交通利用への転換での環境改善を目指しています。
2. 最初からプロはいない、分からない事は聞く“聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥”
3. 庭いじり



あん さい ただ のぶ
安 西 忠 信
前田建設工業(株)北陸支店
執行役員支店長
(前：東福忠彦氏)

1. 初めての富山での勤務なので、地域についてよく学び、そして社業の発展に貢献できるよう頑張りたいと思います。
2. どんな環境でも常にベストをつくる。
3. ゴルフ



いま い たか ゆき
今 井 孝 之
日本生命保険(相)
富山支社長
(前：小川 忍氏)

1. 新型コロナウイルスの感染拡大が長期化しています。こんな時だからこそ、デジタルの活用など新しいことに挑戦し、富山県の活性化に少しでも貢献していきたいと思います。
2. 意志あるところに道は開ける。壁にぶつかった時は、この言葉を思い出しています。
3. 食べ歩き (47都道府県全て行きました)



い のう けん じ
井 口 謙 吾
三菱電機(株)北陸支社
富山支店長
(前：粕尾弘行氏)

1. 新型コロナウイルスの影響によって、日々の活動にも様々な制約がございますが、皆様のお役に立てるソリューション等のご紹介を実施して参りたいと考えております。
2. 信は力なり
3. スポーツ観戦 (特にラグビー)



うす い じゅん
確 井 順
明治安田生命保険(相)
富山支社長
(前：宇田正孝氏)

1. 故郷富山に27年ぶりに帰ってきました。明治安田生命が目指す「ひとに健康を、まちに元気を。」富山のみなさまにお届けできるよう頑張ります。
2. 感謝
3. サッカー観戦



いそがわ のり ひろ
五十川 規 洋
三井住友海上火災保険(株)
富山支店長
(前：寺川和宏氏)

1. 社会・ビジネスの構造変化にタイムリーに対応し、損害保険事業を通じて富山県に貢献したいと考えております。
2. 「健康第一」「プライベートを大切に」「会社では楽しく」
3. 食べ歩き



おお にし えい いち
大 西 英 一
丸紅(株)
北陸支店長
(前：酒井宗二氏)

1. 当社は北陸地区に15年ぶりに支店を再開させて頂きました。会員の皆様との交流を深め、会の発展に微力ながら貢献させて頂きたいと存じます。
2. 一期一会
3. ゴルフ、野球観戦



か じ あき ひろ
加 地 章 浩
日本電気(株)
富山支店長
(前：坂田博昭氏)

1. 富山のブランド価値を全世界へ認知いただくため、ICTを活用して社会インフラの高度化に貢献してまいります。
2. 高い目標を掲げ挑戦し続ける
3. 山歩き（特に六甲山系）



く ぼ たか よし
久 保 貴 義
積水ハウス(株)
北陸支店長
(前：森上和昌氏)

1. コロナ禍で住宅の在り方や求められるものが変化しつつあります。住宅需要は不動産を中心に相変わらず顕在です。時代のニーズをしっかりと理解していく事が肝要だと考えます。
2. 頼まれ事は試され事
3. ゴルフ・バスケットボール・旅行



き た まさ ゆき
喜 多 雅 之
(株)北國銀行
執行役員富山支店長
(前：樫見昭一氏)

1. 働き方や人材のダイバーシティ化、DX等、コロナ禍もあり加速度的に変化している社会環境に対応すべく、様々な分野での学びを継続していきたいと考えております。
2. 知行合一
3. 読書、ゴルフ、音楽鑑賞



く ぼ た よし ぶん
久 保 田 喜 文
三菱ケミカル(株)富山事業所
経営執行職事業所長
(前：赤井一隆氏)

1. コロナ禍で進んだりモータワークの流れを取り込むことで、距離的制約がなくなり、地方の活性化はできると思います。富山からの発信を、活発化していきたい。
2. 「ポジティブシンキング」で、前向きに人生を楽しみたい。そして、「明るく、楽しく、元気よく」仕事を進めたい。
3. 山登り、ドライブ



き た むら こう さく
北 村 耕 作
キタムラ機械(株)
専務取締役
(前：北村彰浩氏)

1. 独自の先新技術やサービスを通じ、今迄以上にお客様へ新たな価値を提供できる企業を目指し、持続した成長の確保と企業価値の向上に迅速に対処を行い傾注して参ります。
2. 三人行えば必ず我が師有り
3. ドライブ、美術館めぐり



こ しま ふみお
伍 嶋 二美男
(公財)富山県新世紀産業機構
理事長
(前：島崎慎一氏)

1. 新型コロナ禍により、地域経済は大きな打撃を受けておりますが、この機会を捉えて、技術開発や販路・流通拡大等、県内産業の躍進のための支援を強化してまいります。
2. 人は、一人では生きていけない無力なものであることを忘れず、事に当たりたい。
3. ジョギング



こばやし なお ゆき
小林 直行
東京海上日動火災保険(株)
富山支店長
(前：中野和幸氏)

1. 人を残すは上。世の為人の為に努力して社会に貢献したいと思っており、そのためにも「人を残す」ことに意を注ぎたいと考えています。
2. 和而不同
3. 旅行・歴史



はせがわ ゆき のぶ
長谷川 幸伸
日本カーバイド工業(株)
取締役執行役員
魚津・早月工場長
(前：竹内利二氏)

1. 米中貿易摩擦やコロナ禍等、従来経験した事の無かった環境への対応が求められており、より柔軟な発想力やスピード感が必要と感じている。
2. 継続は力なり
3. 映画鑑賞、読書



さくら い たかし
櫻井 隆
協和ファーマケミカル(株)
取締役社長
(前：大島悦男氏)

1. 経営は人が動かし、顧客の楽しみ、喜び、豊かさのために行うもの。その結果として事業利益が生まれる考えに基づき行動していきたい。
2. 継続は力なり、人事を尽くす
3. ゴルフ、ジョギング



ばん ゆみ こ
伴 由美子
富士通 Japan (株)
富山支社長
(前：戸塚 健氏)

1. この4月に富山に着任いたしました。富山県の消費者や生産者が求めるものを追求して、我々がもっているノウハウを提供していければと思っております。
2. 人事を尽くして天命を待つ
3. 食べ歩き・飲み歩き



たか はし くに あき
高橋 邦明
オリックス(株)
富山支店長
(前：宇高秀樹氏)

1. コロナ禍によるものだけでなく、時代や環境の柔軟な素早い対応が求められており、それに適応した価値の提供を目指して営業を行っております。
2. 縁尋機妙・多逢聖因 良いご縁を重ねて行きたいと思っています。
3. ゴルフ



まつ だ ひろ き
松田 浩樹
(株)マイナビ
富山支社長
(前：尾田拓海氏)

1. 人材ビジネスに30年近く携わってきました。街や地域が活性化する最も重要な要素として地域の企業様の採用成功が必須だと思えます。人材採用成功を通じて街を元気にしたいです。
2. ①笑顔、②ありがとうと言われる事をする。③常に新たな価値を創造する考動をする事。
3. 釣り、旅行



みず はら きよ はる
水 原 清 晴

富士電機(株)
北陸支社長
(前：三保谷英一氏)

1. ①抱負：情熱を持って高い志を掲げて何事も取り組みたい。
②経済情勢：外部環境の変化に自ら挑戦し対応すべきと強く思う。
2. 知好楽
3. ゴルフ、旅行



みぞ ぐち みち はる
溝 口 道 晴

日本通運(株)
富山支店長
(前：伊藤智之氏)

1. 新型コロナウイルスの脅威が続くなかで常に最善を見極めて業務に取り組み、富山県の経済にも貢献していきたいと考えています。
2. なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり
3. 散歩



やす かわ さとし
安 川 智

(株)三井住友銀行
富山支店長兼
富山法人営業部長
(前：長崎 武氏)

1. 現在、加速する事業環境の変化の真っ只中にいます。この変化を確りと捉えながら、お客さまに付加価値の高いソリューションを提供し、ともに未来の創造に努めて参ります。
2. 着眼大局、着手小局
3. ドライブ

所属企業変更

窪 田 昌 司 氏

エムエス保険サービス(株) 代表取締役

→ (株)エムエスサポート 代表取締役

退 会

亀 井 秀 倫 日本アイ・ビー・エム(株)
広域事業部北信越支店長

川 田 紳 一 川田工業(株)
顧問

杉 野 高 広 コマツ NTC (株)
取締役社長

関 口 真 弘 (株)富山アメニティシステム
取締役社長

土 井 裕 一 朗 伊藤忠商事(株)
富山支店長

萩 原 正 剛 (株)スリー・ティ
取締役相談役

横 田 格 (株)富山第一銀行
取締役頭取

(令和3年4月14日現在 会員数420名)

富山の魅力を幅広く発信

～ 地域創生委員会、フィールドワーク「大人の遠足」冊子・ウェブサイト制作～

地域創生委員会（山野昌道委員長）は、昨年10月に実施したフィールドワーク「大人の遠足」について、当会の取組や富山の魅力を幅広く発信することを目的として冊子及びウェブサイト「富山の経済人が本気で考えて実際に試してみた！とやま半日観光コース」を制作した。

フィールドワーク「大人の遠足」は、地域創生委員会委員より公募した27のプランの中から7行程を選定（岩瀬（2行程）、呉羽、八尾、宇奈月、高岡、上市）し、委員・会員計38名が7つの班に分かれて実施したもので、実施後に参加者より「このよ

うな取組を幅広く発信していくべき」などの意見が寄せられたことから制作したものである。

制作した冊子は、県内主要駅や空港の案内所、ホテル、コンベンション施設などに設置されている。ウェブサイトと併せて県外からの来訪者はもとより、県内在住の方にも富山の魅力を改めて知ってもらうためのツールとしての活用が期待される。



今後の予定

開催日	対象	行事	場所
6月6日(日) 8:34～	あけぼの会 会員	第80回あけぼの会	呉羽カントリークラブ
6月12日(土) 15:00～16:30	全会員	創立60周年記念講演会 講師 安宅 和人 氏 (ヤフー(株)CSO)	富山国際会議場
7月15日(木) 16:30～16:50	幹事以上	7月幹事会	オークスカナル パークホテル富山
7月15日(木) 17:00～18:30	全会員	7月会員定例会 講師 大野 均 氏 (ラグビー元日本代表)	オークスカナル パークホテル富山
9月11日(土)	あけぼの会 会員	第81回あけぼの会	呉羽カントリークラブ
10月7日(木)	正副代表幹事 担当委員長	経済同友会中央日本地区会議	静岡県三島市 (静岡経済同友会主管)

※新型コロナウイルス感染状況により、変更となる場合がございますのでご了承願います。

〔表紙写真（撮影：東澤善樹幹事）〕

富山県へ寄付金贈呈(創立60周年記念式典)

令和3年4月27日、当会は創立60周年記念式典を挙行了。当日は60周年記念事業として、新型コロナウイルス感染症対策にご尽力されている医療従事者への支援に役立てていただくため、富山県に寄付金目録の贈呈を行い、新田八朗富山県知事から感謝状を受けた。

発行所

富山経済同友会

富山市牛島新町5番5号 インテックビル4階

電話 (076) 444-0660

FAX (076) 444-0661

e-mail: doyukai@po.hitwave.or.jp

http://www.doyukai.org/



カイロ大学の学生と



トルコのエフェソス遺跡にて（85年1月）



長男の泣き声をカセットに入れて

北電産業株式会社 取締役社長

高林 幸裕

北陸電力(株)3年目に海外留学制度に応募・合格し、前年開校した国際大学大学院（新潟県浦佐）に9月から入学した。日本版MBAと言われたが、石油政策を学ぼうと中東研究所の門を叩いた。

所長に研究目的を伝えると、「中東は石油が出てからのことを勉強しても分からんよ。少なくともムハンマドの時代から勉強なさい」と言われ、中東文化社会論を主専攻とすることになった。

国際大学は海外留学生や日本人の海外勤務経験者が多くを占め、ほとんどが英語での講義だ。さらに中東研究所員はアラビア語も必修。あのニョロニョロ文字の語根を見分け、活用形を英語辞書で引きながら訳すから1行30分かかった。

英語の講義も「読めない・聞けない・話せない」自分にとっては、宿題が出た雰囲気は分かるが、何をやれば良いのか、聞き回らねばならない始末。

そんな学生生活を送りながら、12月に会社の同期女性と結婚し、世帯学生寮での新婚生活が始まり、そして1年後の12月に長男が誕生した。

さて、国際大学の売りは2年目のフィールドスタディだ。修士論文作成のための現地調査や参考文献探しのためであり、中東研の学生はアラビア語文献30冊を収集するよう厳命されていた。

出産予定日も考慮し、1月から「イラン、トルコ、サウジアラビア、エジプト、イギリス、スペイン」を2か月半かけて歴訪する計画を組んでいたため、出発前に富山に戻り、長男の泣き声をカセットテープに録音して、産後1か月で慌ただしく出発した。

慣れない海外しかも一人行程が多く、夜、ホテルで長男の泣き声を聞くと胸が締め付けられた。

サウジの大学でいきなり教授会に案内されたり、カイロで京大時代の同じ下宿生に会ったり、珍道中だったが、帰国して一番驚いたことは、最初にテヘランでお世話になった商社マンご家族がイラン・イラク戦争の再燃で日本に帰国されていたことだ。

とにかく無事帰国して、英語の修士論文も書き上げることが出来た。ネイティブチェックで原文は跡形もなくなってしまったが...